

## 吾道宮縁由

東嶺円慈。天明元（一七八一）六月に長野県下伊那郡阿智村の吾道宮を訪れ、後に、神官の原家に「吾道宮縁由」を届けている。添え手紙の日付は「六月二十四日」となっている。

## 吾道宮縁由。

中ニ有二三義一者本縁。二者神書考。引証一本縁者。

吾道太神宮ト申ハ天ノ八意ノ命又ハ天思兼命ト申テ、独道

第六世高皇産靈尊熊野権現第一御子ニテ戸隠山ノ奥ノ院天手力雄

命ト口ノ法光院天表春命トノ御父ナリ後中院ニ鎮座シテ愚

蒙ノ男女ヲ利益セント誓玉フ大神也。

天照太神天ノ盤戸へ隠レ玉シ時高天原ニ於テ三種ノ神器ヲ拵へ五調ノ神楽ヲ教へ庭火ヲ焼神歌ヲ唱へ天鈿女命ニ手ノ

舞足ノ踏ヲ理極メ事ヲ備へテ天磬戸ヲ震動セ天照太神ノ御心ヲ勇メテ世ニ顕レ国ヲ治メ天地ヲ照リ耀セ玉フハ偏ニ

此ノ吾道大神ノ御力ラナリ、三部ノ神道ト申ハ一ニハ宗源道是ハ天物梁命ヲ元祖トスニハ齋元道是ハ天太玉命ヲ元祖

トス三二ハ靈宗道是ハ正ク此大神八意命是ナリ、宗源ハ理極、齋元ハ事極、靈宗ハ合道心法ノ極ト申シテ開天ノ間天神七代ノ旨ヲ説フ宗源トシ盛天ノ時地神五代ノ道ヲ説フ齋元トシ喪天ノ世人皇万代ノ理ヲ教フ靈宗トス、次第ヲ云ヘハ宗源齋元靈宗トイヘトモ実ハ靈宗ヲ以テ本トス此ノ靈宗ノ道ヲ明メ知ラサレハ宗源齋元共ニ我手ニ入ラス此ノ靈宗ハ心学ニシテ天照太神ノ教ヘ神道修行ノ事ヲ司リ凡夫ヲ導テ神仙ニ成ラシムルノ道ナリ是故ニ此吾道ノ太神ハ八百万神ノ中ニハ第一ノ智神功神仰キ崇ムヘキノ社ナリ。  
サトシカミイサオシカミ  
 人皇八代孝元天皇ノ御代ニ天降鎮座シ玉フ後戸隱山ノ相殿ニ鎮メ奉リテ又求法房坊三尺ノ時ニ中院ヘ移シ上ルトナリ、古シ此吾道ノ宮ノ神主ハ彼表春命ノ子孫相続セリ、今血脉ハ知レスイヘトモ家ハ表春命ノ子孫吾道宮ノ遠裔ナリト心得ヘキ事ナリ。

## 二 神書考

(「先代旧事本紀又ハ大成経」「日本書紀」「元々集」「雑神書」の解説があるが略す)

## 三 引証

大成経神皇本紀之下孝元天皇五年正月天八意命神将児大神  
手力雄命天降科野親立吾道ノ宮入宮、鎮座手力雄命迁、戸隠  
山此山深人不入宮岩窟鎮座、明年春三月二神共入内謁天皇語  
其状天皇悦設祭供人皇八代。

（以下「十卷旧事記」「延喜式」「元々集」からの引証があ  
るが略す）

註 本文書は昼神の原健彦氏蔵で、『東嶺和尚の無  
尽灯論の神道思想及び「吾道宮縁由」について』

（「禅学研究 47号」1957—3）に翻刻があり、  
それに拠る。また原隆夫「愛郷探史録」の「『吾  
道宮縁由』を読む」にも翻刻がある。